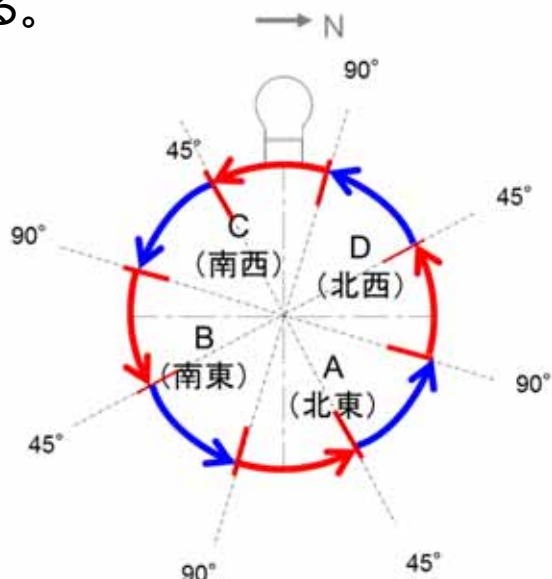


【概要】

1/2号機排気筒解体工事については、10月27日(日)より4ブロック目の解体作業を着手し、予定通り筒身切断の50%まで完了している。

なお、作業の中で6軸アーム先端にあるカメラに動作不良（映像受信不可）が発生した他、電線管を切断する際に把持する「クランプ」（落下防止金具）が外れて排気筒真下に落下したが、立ち入り禁止エリアを設定しており安全上問題はないことを確認している。

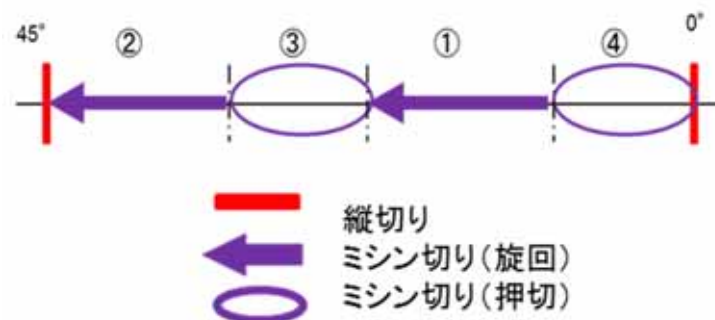
落下したクランプ（落下防止金具）については、クランプ（電線管側）を回収したが該当箇所は線量が高いためクランプ（背かご側）の回収は検討していく。現在、予備品のクランプを使用し6軸アームの挟み込む「力」、「角度」、「差し込み量」などを確認しており、問題がなければ、今後、付属品（背かご・梯子・電線管・ガイドクライム）を切断する予定である。



【4ブロック目筒身の切断状況】

【筒身切断手順】
A北東～D北西エリア
においてそれぞれ45°
ずつマシン切りを実施
縦切りは最初に実施

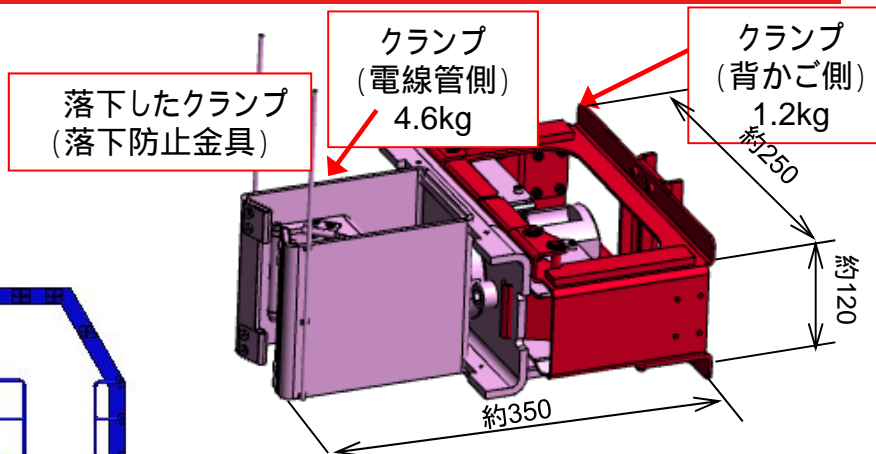
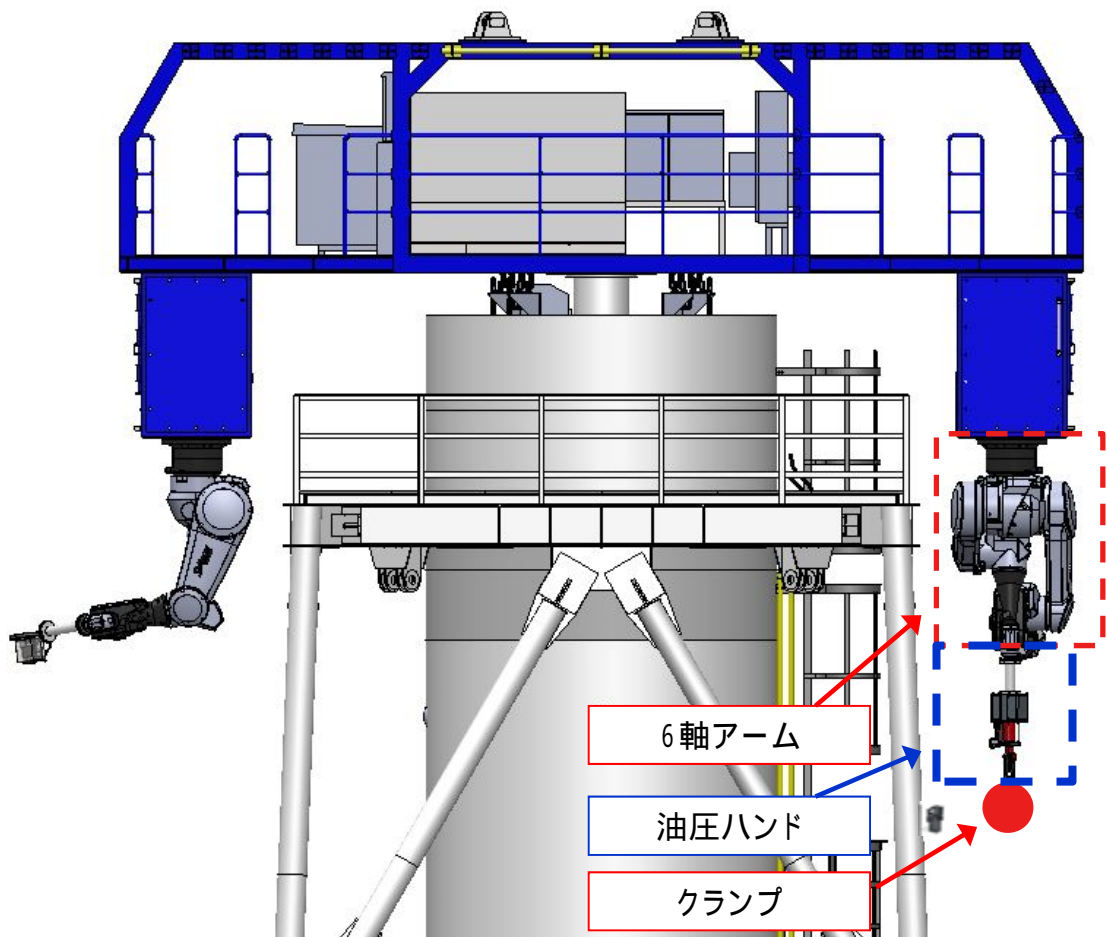
← 切断完了
← 次回切断箇所
(50%～100%)



— 縦切り
← ミシン切り(旋回)
○ ミシン切り(押切)

1 . 6軸アームで把持しているクランプ（落下防止金具）の落下

電線管に取り付ける前に6軸アームに付けている油圧ハンドで把持していたクランプ（落下防止金具）が、6軸アームを下に向けた際に排気筒真下に落下したが、立ち入り禁止エリアを設定しており安全上問題はないことを確認している。



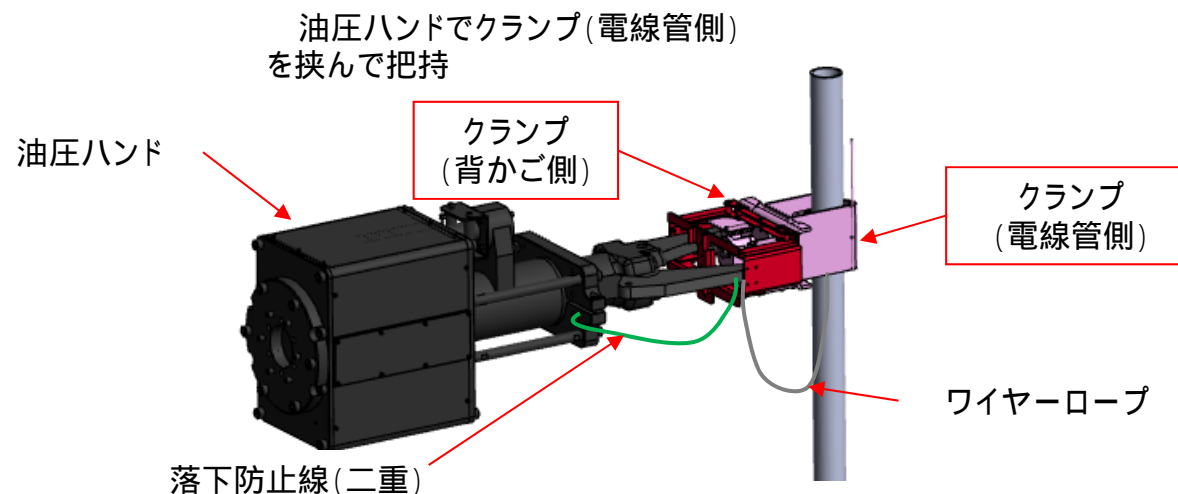
2. クランプ（落下防止金具）が落下した原因（推定）について

原因（推定）

1. 地上で6軸アームの油圧ハンド先端にクランプ（落下防止金具）を取付する際、油圧ハンドを水平確認のみで直立体制（下向き方向）では把持確認を行っていなかった。
2. 油圧ハンドとクランプ（落下防止金具）を繋ぐ落下防止線を取付けていなかった。

今後の対策案

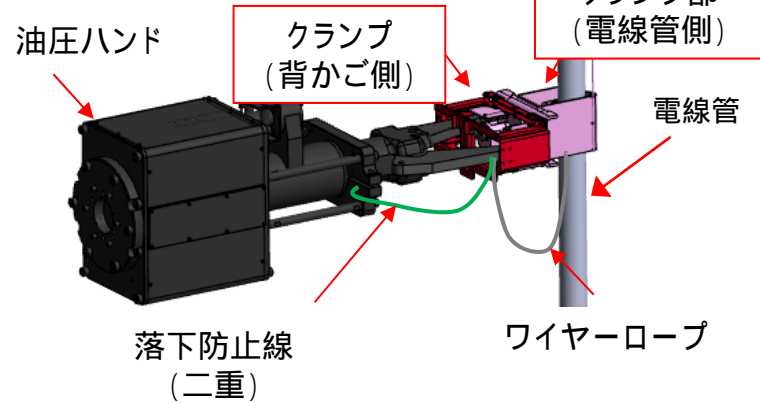
1. 6軸アームの挟み込む「力」、「角度」、「差し込み量」について不十分であった可能性が考えられるため、対策について検討中である。
2. 落下防止線については、現場での相互確認の他に最終的にエイブル本部に、取付を確認した旨の報告を受けてから作業を開始する。



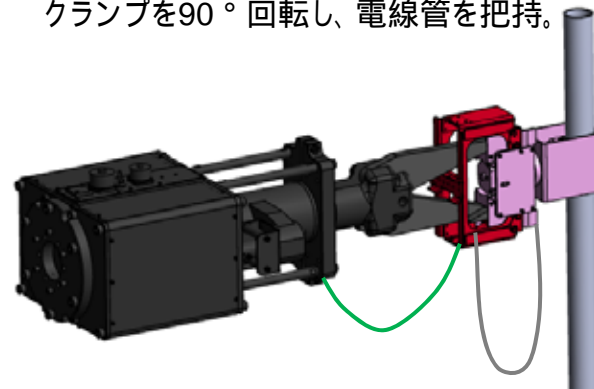
< 参考 > クランプ機構 (通常施工時)

クランプ機構 (電線管把持、落下防止)

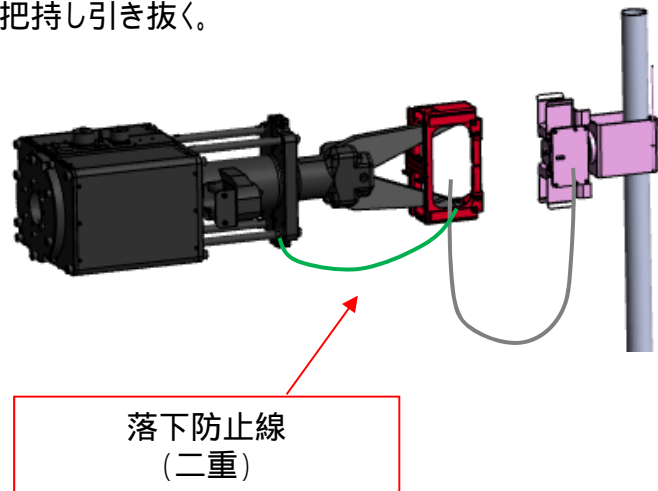
油圧ハンドでクランプ(電線管側)を挟んで把持。



クランプを90°回転し、電線管を把持。



油圧ハンドでクランプ(背かご側)を開いて把持し引き抜く。



クランプ(背かご側)を背かご側に引っ掛ける。落下防止線を油圧ハンド(ハサミ部分)で切断する。

